

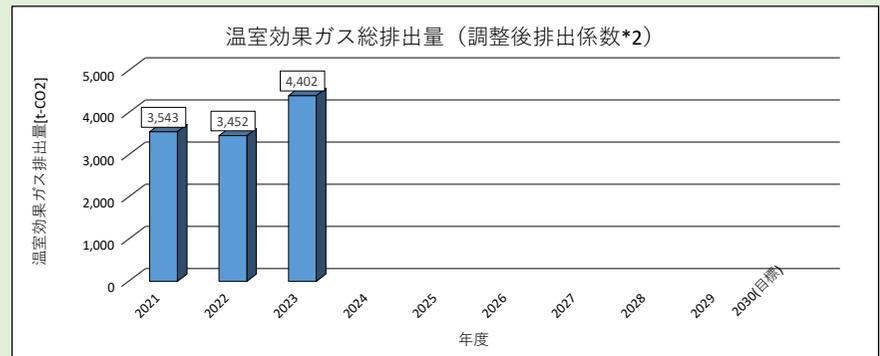
阪南市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 進捗状況

●温室効果ガス総排出量（単位：t-CO2）

活動単位	年度																	
	H25 2013(基準)	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030(目標)
電気の使用																		
基礎排出係数(*1)	4,849	4,518	4,503	4,442	4,457	3,836	3,147	2,938	2,892	2,595	3,059							
調整後排出係数(*2)									2,804	2,717	3,695							
燃料の使用																		
基礎排出係数(*1)	713	730	722	696	661	638	585	594	640	637	611							
し尿等の処理	110	104	112	100	96	96	96	97	95	94	3							
自動車の走行等																		
基礎排出係数(*1)	5.5	6.0	5.8	5.7	5.6	5.6	5.5	5.0	3.5	3.5	93.2							
合計																		
基礎排出係数(*1)	5,677	5,358	5,343	5,244	5,220	4,576	3,834	3,633	3,631	3,330	3,766							2,780
調整後排出係数(*2)									3,543	3,452	4,402							



(*1) 基礎排出係数…電気事業者がそれぞれ供給した電気の発電に伴う燃料の燃焼により排出された二酸化炭素の量（実二酸化炭素排出量）を、当該電気事業者が供給した電力量で除して算出された係数



(*2) 調整後排出係数…電気事業者の実二酸化炭素排出量に対して、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に係る費用負担による調整を行うとともに、他者の排出の抑制等に寄与した量を控除した結果に基づき算出された係数
基礎排出係数での評価に加え、再生可能エネルギー電力の調達等の取組を反映するために使用します。2021年度分より集計を開始しました。

●電気購入量（単位：千kWh）：排出量のうち最も大きな比率を占める電気購入量の推移を参考として示します。（太陽光発電システム等による自家消費分を評価できるよう、電気使用量ではなく購入量を示しています。）

活動単位	年度																	
	H25 2013(基準)	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030(目標)
電気の購入	9,433	8,655	8,574	8,833	8,876	8,840	8,775	8,599	8,688	8,643	8,507							



主要な取組		概要
2001～2005	昼休み時の消灯・照明の間引き エコマーク商品の推進 再生紙使用の推進	
2006～2010	本庁舎・保健センターの空調システム改修 ハイブリッド自動車の導入	
2011～2015	文化センター・図書館の街灯LED化、高効率ヒートポンプの導入 市内全域の防犯灯LED化 太陽光発電システムの導入（鳥取中学校）	
2016～2020	電子決裁システムの導入 ノートパソコン・タブレットの導入 本庁舎・分館の照明LED化	
2022	全庁ヒアリングによるソフト面での省エネ化・ペーパーレス化の再徹底 簡易省エネ診断の実施（阪南市民病院） ZEV（ゼロエミッション車）2台の導入	
2023	財務会計における電子決裁システムの導入 公共施設への太陽光発電システム等の導入可能性調査の実施	